

ふるさとの川をつくり育てる全国大会

企画・広報部

1. はじめに

周辺の景観や地域づくりと一体となった河川整備を地元の市町村や住民の方々の参加を求めて行う「ふるさとの川整備事業」が昭和62年にモデル事業として創設されて以来、今年で15年目を迎えました。

本大会は、これまで実施されてきた「ふるさとの川整備事業」を題材に、「川をつくる」から「つくり育てる」視点をテーマに、全国各地でふるさとの川づくりに実際に携わってきた多くの関係者の参加を呼びかけ、地域を越えた新たな交流を行い、実務者各自の感性の練磨と実践技術の向上を目的に開催されたものです。

大会は、平成13年7月18日と19日の2日間にわたって山口県宇部市の渡辺翁記念会館にて開催されました。

2. 大会の概要

大会は以下の2部で構成されました。

【第1部(18日)】

○ 特別講演

テーマ：「ふるさとの川の文化と住民参加」
鳥取大学 学長 道上 正規

○ 基調報告

テーマ：「河川整備と地方分権」
～ふるさとの川整備の反省と将来～
(財)リバーフロント整備センター 理事長 松田 芳夫



写真-1 基調報告

○ パネルディスカッション

テーマ：「ふるさとの川に期待するものは何か」
パネリスト

小谷 寛二 (呉大学社会情報学部教授)
篠原 修 (東京大学大学院工学系研究科教授)
吉村 伸一 (㈱吉村伸一流域計画室代表)

榎本 敬子 (北九州市建築都市局計画部都市計画課主査)
田中 昌子 (山口県情報公開審議会委員)
柏木 才助 (国土交通省河川局治水課都市河川室長)
コーディネーター
森野 美德 (日本経済新聞経済記者)



写真-2 パネルディスカッション風景

【第2部(19日)】

○ 各地の取組みと情報の交流

テーマ：「ふるさとの川整備事例について」
真締川(宇部市)・茂漁川(恵庭市)・荒川(福島市)
津和野川(津和野町)・紫川(北九州市)

テーマ：「川にかかわる各種の取組みについて」

- ・川に学ぶ体験活動について
- ・ともだちになるうふるさとの川
- ・真締川・川を育てる里親制度
- ・山口県の流域住民による連携の取組み

コメンテーター

小谷 寛二 (呉大学社会情報学部教授)

○ 現地見学会(真締川～きらら博会場)

○ パネル展示(18日、19日)

3. あとがき

本大会は、行政関係者、コンサルタント、NPOそして地元市民の皆様をあわせ1,100人余りの予想を上回る参加を頂き、盛況裏に終了することが出来ました。本大会が、川づくりに取り組む多くの分野の方々の横断的な意見交換の場となり、今後の地域づくり、川づくりに生かされていく契機となれば幸いです。また、この大会の成果を今後「大会からの発信(仮称)」として小冊子に取りまとめたいと考えております。

最後に大会の企画・運営のお手伝いをさせていただきました当センターとして、大会実行委員会の皆様と事務局・スタッフの方々に心から感謝とお礼を申し上げる次第です。